

次世代交通ビジョンおきなわ

【第4回 有識者会議】

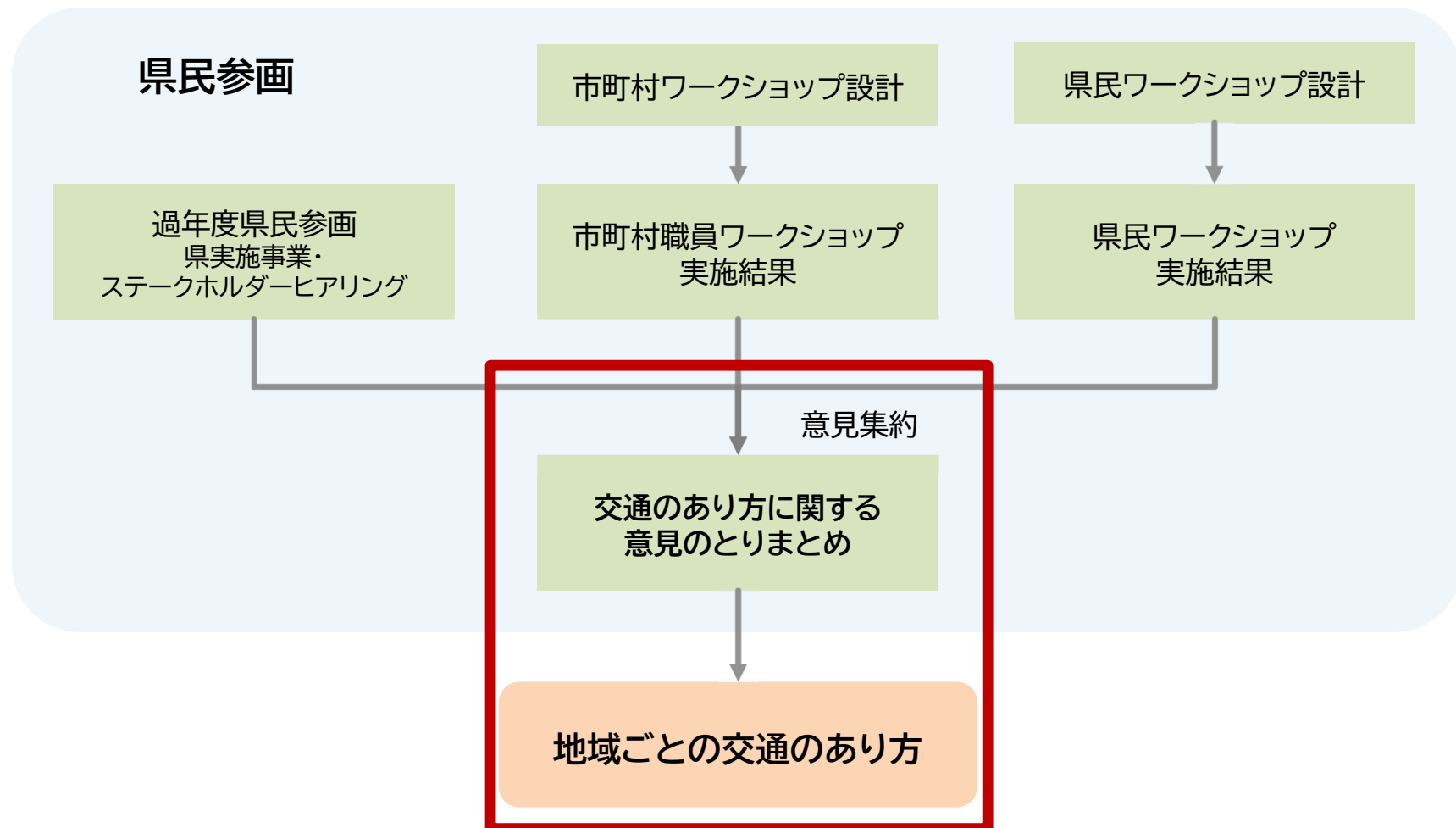
～ ステップ2「地域ごとの交通のあり方」とりまとめ方針～

1. ステップ2の県民参画とアウトプットの関係性
2. 「地域ごとの交通のあり方」の記載方針

令和8年7月10日
沖縄県 交通戦略推進課

1. ステップ2の県民参画とアウトプットの関係性（再掲）

- ステップ2のアウトプットである「地域ごとの交通のあり方」は、市町村職員ワークショップ、県民ワークショップ及び他の取組で聴取した県民意見を集約した「交通のあり方に関する意見のとりまとめ」を踏まえて検討を行う。



2. 「地域ごとの交通のあり方」の記載方針

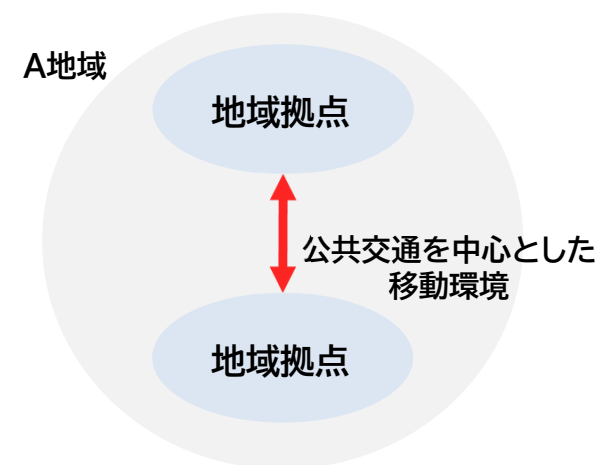
- ・ステップ2「地域ごとの交通のあり方」では、県民意見等を踏まえ、「結ぶべき地域間の移動」と、それを担う「交通の役割」を議論し、地域ごとの交通のあり方を整理する。
- ・「交通の役割」については、様々な視点(サービスレベル等)から整理する。

「交通のあり方」記載方針

- ・ どの地域を結ぶ必要があるのか
- ・ どのような役割を持った交通で結ぶ必要があるのか

記載(例)

- ・ A地域では、地域拠点間を住民・観光客を含む誰もが、円滑かつ速やかに移動できる、公共交通を中心とした移動環境が求められる。
- ・ また、運行ルートや乗り場、ダイヤ・運行情報が分かりやすく、初めて訪れる人でも迷わず利用できる環境を形成するとともに、限られた運転手や車両を活かしながら持続的に運行できる仕組みが求められる。



地図への可視化イメージ

交通のあり方に関する 意見のとりまとめ

交通のあり方に関する意見(例)

- ・県民(観光客)の車利用を減らして渋滞を減らすべき
- ・県民(観光客)が路線バスで素早く移動できるべき
- ・県民(観光客)の足を確保すべき
- ・バスのルート・ダイヤ情報が分かりやすく伝えられるべき
- ・バス運転手が少なくとも、運行できる体制が整っているべき

未来像の実現に向けた視点

- 移動時間の見通しやすさ
- 移動時間の短縮
- 誰もが移動できる環境
- 移動に関する情報のわかりやすさ
- 持続可能な移動環境

- 未来像の実現のため、下記の視点で「地域ごとの交通のあり方」を整理する。
- 各視点は、これまでの県民参画で得た移動に関する課題をもとに、交通のあり方を確認する観点として整理したものである。
- 各地域において、視点を一律に満たすことを前提とせず、地域特性に応じて必要な視点を整理する。
- 視点は、今後の県民参画で得られる意見も踏まえ、必要に応じて更新(再整理)する。

